

2017年、今年も5月19日に、我が校のPTA総会も無事に終え、今年度のPTA活動が開始致しました。

今年度も、保護者の皆様や准校長先生はじめ、教員の皆様、そして、地域の皆様にご支援、ご協力を賜りながら、役員一同盛んに取り組んでまいりたいと思います。

どうか、今年度も宜しくお願い申し上げます。

さて、我が校の総会を迎えた後は、加盟団体の総会などが相次いで開催となり、准校長先生と役員でそれぞれ出席いたしました。

今回は、5月30日に行われました『大阪府立支援学校PTA協議会』総会と、6月5日に行われました『近畿特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合協議会』の総会、また、6月7日に行われました『ベルマーク運動説明会』についての報告をいたします。

まずは、5月30日、たかつガーデンに於いて行われました『大阪府立支援学校PTA協議会』総会について報告致します。



はじめに、平成28年度の大阪府立支援学校PTA協議会 会長よりご挨拶があり、昨年度より、大阪市立支援学校が府へ移管されたことによる様々な問題についても受け止めながら、今後更に見守っていきたいと、昨年度を振り返りながらお話を頂きました。

その後は、大阪府立支援学校校長会 会長によるご挨拶も頂き、昨年度起こった事案に際しての教職員への改善指導とした研修会や、また、保護者からの緊急相談が行える機関とした各支援学校の学校長宛となる直通メールの開設についてなどの新たな対策や取り組みについてお話を頂きました。

そして、大阪府教育庁支援教育課長の田中様からも、代表で来賓のご挨拶を頂戴致しました。

今年度より、幼稚園、小・中学校での共同学習として、地域別で5校（スポーツ3校、文化2校）のモデル校を設置し、障がい者の大会（2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて）参加促進をめざしていくことや、キャリア教育に際しては、企業協力を得ながら、就労についてなど、教育課程の改革を行っていくなど、大阪府としての取り組みについてお話を頂

きました。

その次には、大阪府立支援学校PTA協議会へ、新型インフルエンザが流行した年より毎年、児童生徒へ様々な寄贈品を贈って下さる『化学繊維振興会』より、今年度も、2リットルの水・白ご飯・白がゆといった災害時の避難備蓄となる品々を、専務理事の細見様より寄贈頂きました。また、これに対して、大阪府立支援学校PTA協議会より、今年度も感謝状を贈呈させて頂きました。

本当に、ありがとうございました。



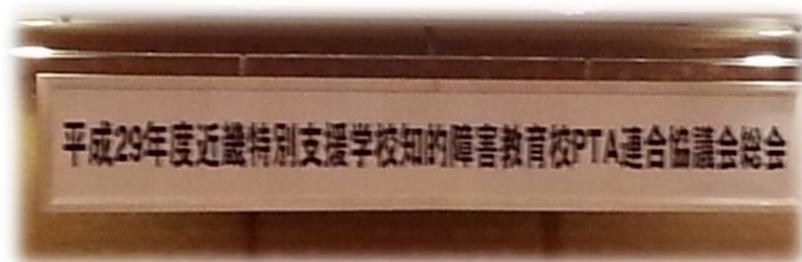
その後は、6月を『支援学校におけるすべての子どもたちの安全・安心をさらに推進の行動月間』とし、行動に向けてのアピール文が会長により読み上げられ、大阪府教育庁支援教育課へアピール文を手交致しました。

さらに事業報告や会計報告、新役員選出などをご承認頂き、次年度への議事へと移り、そちらも皆様にご承認頂き、今年度の大阪府立支援学校PTA協議会が開始の運びとなりました。

また、今年も大阪府立支援学校PTAが一丸となり、活動してまいりたいと思います。

続いて、6月5日に行われました『近畿特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合協議会』総会について、ご報告いたします。

今年は、大阪府内にありますホテルアウリーナ大阪にて開催となりました。



まずは、昨年度の近畿特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合協議会会長よりご挨拶が行われ、昨年に行われました熊本地震により亡くなられた

方々へ哀悼の意を表され、また、被災された方々へお見舞いの言葉が述べられました。そして、今後の私たちの備えとした「共助・自助・公助・近助」の大事さを今一度述べられておられました。

続いて、近畿特別支援学校知的障害教育校長会 校長よりお話がありました。支援教育の改正から10年目となり、学習指導要領についての改正が行われることになり、変化する社会の中で、学校・家庭と連携を取りながら、開かれた教育課程、学びの位置（何が必要か）について、また、社会への自立参加など、これまでの課題に触れながら改正へ向けてのお話でした。

そして、大阪府教育庁支援教育課 課長補佐 坂田様よりご祝辞を頂戴しました。現在、大阪府で取り組まれておられることとして、昨年4月1日に施行となった「障害者差別解消法」に際して『共に学び・共に育つ』を掲げ、また、2020年開催となる東京オリンピック大会への参加育成とした推進会議など、広く活動支援が行われていることをご紹介頂きました。

午後からは、記念講演会が行われました。今年は、関西国際大学教育学部教育福祉学科 教授 花熊 暁 氏による『特別支援教育と障がい支援の動向 ～いま、学校・家庭で大切にしたいこと～』と題しての講演会が行われましたので、ご報告いたします。



平成28年度は、特別支援教育と障がい支援の今後のあり方が示された年であり、「障害者差別解消法」の施行をはじめ、教育の場でも様々な審議会が設けられました。

改正にあたり、次期学習指導要領でめざしていることとして、『学校教育を通じて育成しなければならない資質・能力の三つの柱』について、学校教育の課題についてもわかりやすくお話頂きました。

また、「キャリア教育」の説明も行われ、『子ども一人一人の社会的・職業

的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育』であること、また、よく耳にする『キャリア』についても、『子どものときから大人に至るまで、一生涯にわたって家庭・学校・社会の中で、自分の役割をはたすこと。それによって、自分の存在価値を感じ、人生を充実した、より良いものにしていくこと』など、なかなか意味を理解していたようで、わからなかったことも知りえる事ができ、学校教育の目的がより明確になりました。

そして、家庭生活での課題についてもお話があり、『親子共に、目の前のことに一生懸命で、社会的自立に向けた課題が先送りになっている現状』も問われたことには考えさせられました。

約2時間弱の講演でしたが、学校・家庭での課題などが見据えられ、大変勉強になりました。ありがとうございました。

続いては、ベルマーク運動説明会についてご報告致します。

6月7日に大阪市中央公会堂でベルマーク運動説明会があり本校から役員と厚生部員2名が参加しました。

あいにくの雨でしたが、多くの参加者がいらしてはじまりの時間が予定より20分遅れての開始でした。

ベルマーク運動に協賛されている会社が今回は8社来られておりその一つ一つがベルマーク運動への思いを語り商品などを説明しておられました。その中でもバナナなどにもベルマークがついていることを説明され、少し驚いてしまいました。

ベルマークは1960年にへき地の学校への援助からスタートし現在では800万世帯が参加されているとのこと。最大の特長は「自分のために人のためになる」とのことでした。

今回初めて私が知って便利だと思ったのはウェブベルマークです。

これはネットで買い物などをする時にサイトを経由することで買い物をしながらベルマークを集められるというものです。支援金は東北被災校と自分たちの学校へと半分ずつ送られるようになっています。

とても便利ですがまだまだ参加している方が少ないようです。

知っているようで知らないことがまだまだあり今回参加できてよかったです。

